



養殖ホタテの被害状況について報告されました
上磯郡漁業協同組合 木古内支所

(※) へい死 動物が、感染症などで突然死ぬこと。

上磯郡漁協
ホタテ被害 漁業者救済を

三上専務 8月下旬から約1か月間、海水が約26度から27度と高温が続き、ホタテがへい死(※)しています。原因は、ここの猛暑が考えられ、総被害額はこれまでにならぬ約3622万円となっています。

又地委員 その対策として、ホタテ漁家はどうかようとしているのですか。

三上専務 すでに稚貝を72万粒導入しており今後、48万粒の半成貝を導入して来年以降につなげていきたいということ、漁業者と話し合いを行っています。

又地委員 半成貝等を導入しても歩留まりがあり、来降の生産額は例年並みには追いつかないと思っています。

西村理事 順調にいても、例年の三分の一度の水揚げになると思います。

高温が続かなければ、何とか元通りになると思いますが、来年は収入の見込みもなく不安でいっぱいです。

東出委員 国や道からの支援というものはないので、

三上専務 道の担当者も特にならぬということ、町から罹災証明を出してもらえば、農林漁業公庫のセーフティネット資金が使えます。

つなぎ資金として、3年据え置きで10年の償還期間があり、これに対する利子補給を町にお願いしたいと思っています。

新函館農協
牧場整備 事業費残が課題

佐藤委員 新函館農協として、将来に向けた牧場運営についての考えは持っていますか。

また、木古内のほかにあるのですか。

城地センター長 農協が運営している育成牧野は、木古内地区だけです。距離的な問題や病気に対する問題等があり、地元にある牧場が一番いいというのが生産者の思いです。農協唯一の牧場でもあり、不測の事態を想定した場合はなくするわけにはいかないため、存続していきたいというのが農協としての考えです。

吉田委員 牧場の草地更新の説明もありましたが、生産者の1日あたりの負担額はいくらになつてますか。

城地センター長 1日の預託料の基準は、220円となつています。毎年、牧野運営委員会が預託料を決めています。その中で草地更新の部分が出てきました。

今回の補助金の440万円についてはまだ最終



育成牧野の草地整備について意見交換しました
新函館農業協同組合 木古内支店

決定していませんが、生産者と農協、木古内町、知内町で四分の一ずつという案もあります。木古内町は放牧頭数も多いことから、頭数割りなど今後、検討させていたいただきたいと思っています。

福岡委員 実施する前の計画として負担を求めるのであればわかりますが、これでは事後承諾ではないですか。

城地センター長 事業はことしいっぱいこの工期と

なっており、行政の予算編成の時期とずれ込んだためこのようなことになりました。償還は、平成25年度から10年間となっています。何か良い事業があればと思っております。後、牧野運営委員会に生産者を交えた中で進めて行きたいと思っています。

又地委員 担当課と農協で協議した中で再度、総務・経済常任委員会に報告してください。